

2026～2027年度 行動計画・目標

1. 理事会

定例理事会：毎月第3例会もしくは第2・第4例会終了後開催

臨時理事会：緊急に諮るべき議案が生じた時開催

2. クラブ委員会

クラブ奉仕委員会

・出席・ニコニコ BOX 委員会

例会の出席率が向上するための企画・運営をする。

ニコニコ投入額の増進及び奉仕活動への積極的支援する。

会員にニコニコ BOX の意義を理解してもらい、投入額の増加を図る。

・プログラム委員会

ゲスト卓話、会員卓話を積極的に企画し例会の充実を図り会員が

知識の向上を図れる様な出席したくなる様な運営に努める。

楽しい例会や学びの場、有意義な時間を共有できるような企画をする。

・ロータリー家族親睦委員会

新入会員やその家族と親睦を深められる明るく楽しい企画・運営をする。

SAA と連携し、家族同士の親睦がより一層深まる様な催事を実施する。

情報委員会

・クラブ会報委員会

読みやすく親しみやすい会報と広報誌の作成、デジタル化の促進をする。

・クラブ SNS 委員会

公共イメージ向上のため、SNS等を活用して発信し、認知度向上を図る。

My Rotary への登録を推進し、ラーニングセンターの活用を促す。

クラブのウェブサイトとソーシャルメディアを管理する。

ホームページの更なる充実に努め広報誌を発行し地域での認知を高める。

会員組織委員会

・会員増強・選考委員会

退会防止に努めると共に3か年目標の一つでもある純増2名の達成を目指し加入促進する。

理事会にて入会见込み者の特定や紹介をする。

・職業分類・研修委員会

職業分類の見直しと未充填の補完を行う。

例会にて在籍5年未満会員へ向けての卓話を企画する。

奉仕プロジェクト委員会

- ・職業奉仕委員会

職業を通して奉仕活動の実践をはかる。企業見学会を実施する。

先進企業・会員企業への訪問を実施して異業種の理解を深める。

- ・社会奉仕委員会

地域で行われている慈善活動やクラブ、地元の祭り等に協賛、協力を継続して行い、地域社会に貢献する。

参加できる地域行事には積極的参加をするよう会員に働きかける。

- ・青少年奉仕委員会

青藍泰斗高等学校 IAC にポリオ撲滅支援としてペットボトルのエコキャップ回収活動を支援する。

青藍泰斗高等学校 IAC と共に足尾植樹に参加する。

高校生及び一般 RYLA 参加募集及び参加を継続して支援する。

IAC 台湾研修への参加を推進し、支援を行う。

当クラブより輩出の地区委員への支援・協力をする。

- ・国際奉仕委員会

佐野市国際交流協会等との連携及び支援をする。

ロータリー国際大会への参加を促進する。

ロータリー財団支援委員会

- ・ロータリー財団委員会

地区補助金の申請と寄付のお願いをする。

年次寄付 一人 150 ドル ポリオ・プラス 一人 30 ドルの達成をする。

7 月と 12 月に半期分ずつ寄付をする。

ポール・ハリス・ソサエティー（毎年 1,000 ドル）への登録促進

ポリオ・プラス・ソサエティー（毎年 100 ドル）への登録促進

ロータリーカード（個人・クラブ）の普及促進

ポリオデーにおけるポリオ根絶活動の実施（第 9G）

- ・米山記念奨学会委員会

普通寄付 一人 5,000 円（地区目標）の達成をする。

特別寄付 一人 14,000 円（地区目標）の達成をする。

7 月と 12 月に半期分ずつ寄付をする。

SAA

緊張感のある中にも笑いのある、充実した全員参加型の例会運営に努める。

家族親睦委員会と連携し、家族にも喜ばれる夜間家族例会を実施する。

近隣クラブとの合同例会の計画、実施をする。

3. クラブ協議会

第1回 6月 前年度の事業報告、本年度の目標及び事業計画について

第2-1回 7月 目標・事業計画について（常任委員長）

野部武典	クラブ奉仕委員長
関塚保雄	情報委員長
松原維一郎	会員組織委員長
保科純一郎	奉仕プロジェクト委員長
飯塚達郎	ロータリー財団支援委員長

第2-2回 7月 目標・事業計画について

奥山浩司	出席・ニコニコBOX委員長
蓼沼大介	プログラム委員長
田中幸弘	ロータリー家族親睦委員長
中田英昭	クラブ会報委員長
関塚保雄	クラブSNS委員長

第2-3回 9月 目標・事業計画について

寺内 奨	会員増強・選考委員長
福島秀治	職業分類・研修委員長
飯塚達郎	ロータリー財団委員長
中本勝雄	米山記念奨学会委員長
中野勇夫	SAA委員長

第2-4回 9月 目標・事業計画について

保科純一郎	職業奉仕委員長
永井治寿	社会奉仕委員長
石澤洋幸	青少年奉仕委員長
土屋 登	国際奉仕委員長

第3回 1月 本年度事業の進捗について（常任委員長）

野部武典	クラブ奉仕委員長
関塚保雄	情報委員長
松原維一郎	会員組織委員長
保科純一郎	奉仕プロジェクト委員長
飯塚達郎	ロータリー財団支援委員長

4. クラブフォーラム（クラブ討論会）

8月	野部武典	クラブ奉仕委員長
10月	永井治寿	社会奉仕委員長
1月	保科純一郎	職業奉仕委員長
2月	土屋 登	国際奉仕委員長
5月	石澤洋幸	青少年奉仕委員長

5. 重要課題

①会員増強及び退会防止

全会員で候補者を考え、純増2名達成に努め、退会防止に努める。地域の人たちにロータリークラブの奉仕活動をより理解していただくために、奉仕活動の情報をより多く発信し、現在必要とされている奉仕の情報を的確に収集し、より良い活動が出来るようにしていく。退会防止では、会員の意見も取り入れ、プログラムの充実を図る

②例会プログラムの充実

プログラム委員長とSAAとの連携を密にして、例会の充実と盛り上がりを目指す。

ゲスト卓話の積極的採用、会員卓話、地区役員、新人会員の卓話、3分間スピーチ等を実施し出席率向上を目指す。

在籍5年未満の会員に向けての卓話を企画（職業分類・研修委員会主体）

③青少年奉仕

地区青少年奉仕プログラムへの参加を基本とし、青藍泰斗高校 IAC 例会に出席し活動の推進と共に IAC 会員増強へのアドバイスを行う。

④ロータリー財団への協力

年次寄付 会員一人150ドル、ポリオ・プラス30ドルの達成

恒久基金（ベネファクター）1名以上の達成

ポール・ハリス・ソサエティの登録促進

ポリオ・プラス・ソサエティの登録促進

ロータリーカードの普及促進

⑤米山記念奨学会への協力

会員一人19,000円の達成

⑥近隣クラブとの交流（田沼 RC）

⑦子どもの貧困について、関係者を招き現状問題を把握する

6. 特別休会日・振替休会日

特別休会日 12月29日・3月30日

振替休会日 12月1日（11/22地区大会）・2月9日（2/6IM）4月27日（4/24春の植樹デー）